疾患名　転移性乳癌　　No.92

プロトコール名　ハーセプチン/タキソテール併用療法

■進行・再発癌　□術後補助化学療法　□術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（　　）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1, d8等）
1	トラスツズマブ（ハーセプチン・HER）	4mg/kg（初回のみ）	div	90分	d1
2	トラスツズマブ（ハーセプチン・HER）	2mg/kg	div	90分	d8 、 d15、 d22
3	ドセタキセル（タキソテール・DOC）	65mg/m^2	div	60分	d2(初回のみ) 、 d22
4					

1コース期間 （次コースまでの標準期間）	3週間(DOCは1投2休、HERは3投)
総コース数	出来る限り
コース間での休薬の規定	好中球数がGrade4のときはDOC、HERともに1週休薬 好中球数がGrade3のときはDOCのみ1週休薬、HERは続行

減量規定・中止基準	回復後Grade4の好中球減少→次よりDOCのみ80%に減量、HERは同量を継続
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	2コース目以降day1にDOCとHERを併用投与とする
コースによる変化	HER初回投与時は4mg/kg、2回目以降は2mg/kg、2回目以降60分点滴可能
1日の中での抗癌剤投与順	HER → DOC
ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ	DOC投与前にカイトリルバック＋デカドロン8mg

患者条件

・PS 0～2
・再発転移HER2陽性（Herceptest3+、FISH陽性）
・主要臓器が保たれている症例
・心エコーで心駆出力50%以上

除外規定

禁忌（次の患者には投与しないこと）
・重篤な骨髄抑制のある患者
・感染症を合併している患者
・発熱を有し感染症の疑われる患者
・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

・ハーセプチン投与開始前には必ず患者の心機能を確認する。
・ハーセプチン投与開始24時間以内に現れるInfusion reactionのうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用は特に安静時呼吸困難のある患者、又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与する。